

高校生との意見交換会報告書

印旛特別支援学校さくら分校



佐倉南高等学校



佐倉東高等学校・佐倉西高等学校



佐倉高等学校



開催概要

目的

主権者教育の一環として次世代を担う高校生に市政や市議会への関心を高めてもらい、市議会も高校生の意見を聞き、開かれた市議会を推進する。

日時

令和6年12月17日（火）
13:30～15:30

内容

- ① 全体会議（市議会の活動報告、議場体験）
- ② 議員と高校生とのディスカッション

会場

佐倉市役所 議会棟
①全体会議 議会棟 本会議場
②議員と高校生とのディスカッション
議会棟 委員会室

参加者

25名

佐倉高校7名、佐倉東高校4名、
佐倉西高校2名、佐倉南高校6名、
特別支援学校さくら分校6名

出席議員 28名

全体会議

於：本会議場

【流れ】

1. 開会

司会：広報公聴委員会委員 望月庄子

2. 主催者 あいさつ 佐倉市議会議長 敷根文裕

3. 開催趣旨の説明 広報公聴委員会委員長 高木大輔

4. 市議会の活動報告

広報公聴委員会副委員長 長谷川泰弘

5. 議場体験

議員役：印旛特別支援学校さくら分校 高野琉輝さん

【主催者あいさつ】 敷根文裕 議長



【開催趣旨の説明】
高木大輔 広報公聴委員会委員長



【司会】 望月 広報公聴委員会委員



【市議会活動報告】
長谷川 広報公聴委員会
副委員長



議員と高校生とのディスカッション

於：第一から第四委員会室

【流れ】





印旛特別支援学校さくら分校

- 開催場所：第四委員会室
- 参加者数：6名
- 担当議員：斎藤明美、石井昇、三谷英継、稲田敏昭、鍋田達子、爲田浩、平野裕子
- テーマ（共通）30年後の佐倉市に期待すること
 - ①佐倉市で高校生活を送る中で感じる「困ったこと」「あったらいいな」
 - ②魅力ある佐倉市にするには～企業や商業施設を誘致しよう～
 - ③住み続けたい佐倉市にするためには～平和で安全な街にしよう～





意見交換

【テーマ】30年後の佐倉市に期待すること

高校生 昔使用されていた、いろいろな物の進化の過程を見たいため、国立歴史民俗博物館が残っていてほしい。

議員 治安が悪いまちにはなりたくないため、自然豊かなまちが残っていてほしい。

高校生 歴史をこわさずリニューアルしてほしい。古民家カフェ等が多くなってほしい。

高校生 他の地域からたくさんの人が観光に来るまちになってほしい。

高校生 佐倉市民花火大会や佐倉の秋祭りなど、現在行われているイベントや行事が残っていてほしい。

高校生 臼井に住んでいるが、イオンがもう少し発展してほしい。

議員 歴史など、今あるものを大切にしてほしいとの意見が多かったが、よかったと感じる場所や、思い出に残っている行事、場所はあるか。

高校生 佐倉市民花火大会、国立歴史民俗博物館、佐倉の秋祭り。

議員 新しいものを取り入れた方がよい部分もあるが、佐倉のよい部分を残してほしいと考えていると感じた。皆さん自身が楽しい、大事だと思うことを、皆さん同士で共有してほしい。

議員 どんな古民家カフェがあったらよいと思うか。
古民家カフェでどんなものがあったらよいと思うか。

高校生 内装をリフォームして、外観はそのままの姿を残しているカフェがあったらよいと思う。
館蜜があったら良いと思う。

議員 新町通りに古民家が何軒もあり、その中の旧今井家住宅を貸し出してお店が開かれると思うので、リフレッシュタイムやコミュニケーションの場に使ってほしい。
皆さんの若い知恵など、いろいろな考え方を取り入れていくことが大事なので、意見交換会は有意義だと感じる。



意見交換

【テーマ】30年後の佐倉市に期待すること

- 議員 佐倉市には陸上も野球もよい施設があるので、これからも皆さんに活用していただきたい。豊かな自然を残してほしいという意見があったが、そう思う。現在は、山や田畑が荒れており放棄地となっている。イノシシが多く出没し荒らしている、豊かな自然を残すのが難しいと感じている。皆さんの手で、豊かな自然を残してほしい。
- 議員 30年後に向けて、新しいものをつくっていくよりも、今あるものを残して行ってほしいと考えるか。
- 高校生 豊かな佐倉市をこのまま継続して残して行ってほしい。
- 高校生 新しいものもよいがせっかく残っていた歴史がなくなってしまうのは悲しいので、新しいものよりも歴史も残してほしい。
- 議員 佐倉もよいまちだが、日本にはよいまちが多くある。皆さんがどこに住むかは自由だと思う、その中で佐倉を選んでくれたらより楽しいまちになる。佐倉には歴史や自然などのよさがあり、他の地域にもその場所の良さがあるので、それぞれが伸ばしていけばよいと思う。印旛地域が住みやすいところであってほしい。皆さんに佐倉市を選んでいただけるように、私は頑張っていきたい。

【テーマ】佐倉市で高校生活を送る中で感じる「困ったこと」「あったらいいな」

- 高校生 通学路の歩道が狭い場所があり、自転車が危険と感ずることがあるので歩道を広げてほしい。
- 高校生 JR佐倉駅と佐倉南高校を結ぶバスの本数を増やしてほしい。
- 高校生 駅前のパチンコ店の煙草の煙が気になるので、室内に喫煙所をつくってほしい。
- 高校生 登校時に歩いていると道にゴミが落ちているのが気になる。拾っているが、下校時にはまた落ちているので改善してほしい。
- 高校生 安全のために公園や通学路など、公共の場に監視カメラを設置してほしい。
- 高校生 佐倉青春文化祭で販売会を行うことができた。今後も、佐倉市の施設を借りて活動をさせてもらいたい。
- 高校生 自転車が歩道を右側通行していて危険なので、厳しく対策をしてほしい。
- 議員 それぞれ持ち帰って検討する。



意見交換

【テーマ】魅力ある佐倉市にするには～企業や商業施設を誘致しよう～

高校生 JR佐倉駅の近くに、映えスポットをつかってほしい。

議員 両方の駅ではないのか。JRの反対側のイルミネーションは可愛い。

高校生 公園などは球技ができないので、サッカーができる場所を増やしてほしい。

議員 野球やバスケットボールなども、近隣の方から音が大きすぎるという声があり、難しいことは理解している。

高校生 JR佐倉駅の近くに、カラオケなどの娯楽施設を増やしてほしい。

議員 スポッチャがあったらよいと思うがスポッチャは皆さん利用するのか。JR佐倉駅付近にカラオケはあったが閉店した。

高校生 利用したことはない。スポッチャとはどういう施設か教えてほしい。

議員 ボウリング、カラオケ、バスケットボール、テニスなど、ひとつの建物で色々な遊びができ、八千代市の村上や、千葉市の幕張にあるが費用がかかってしまう。
高校生が寄り道をするのは良くないかもしれないが、遊ぶところはほしい。

高校生 音楽ホールや、文化会館が佐倉地区にもほしい。

議員 佐倉ハーモニーホールよりも、ひと回り、ふた回り大きいホールがあったらよいと思う。
きてほしいアーティストはいるか。

高校生 米津玄師にきてほしい。

議員 米津がきてくれたら嬉しい。
佐倉出身のBUMP OF CHICKENが、以前、佐倉市民体育館でライブをおこなったら床が抜けてしまった。
議会として考えないといけないことは、建物がほしくてもそこに予算があったり、維持していくものも考えないといけないので議論をかわしたりしている。



意見交換

【テーマ】魅力ある佐倉市にするには～企業や商業施設を誘致しよう～

高校生 分校の皆で話し合ったが、アニメ・マンガグッズの販売を行う店や手芸・工芸ホビー材料・雑貨を扱う店があったらよい。

議員 提案の店があったらよい、きてくれたらよい。
人口が増えると企業もきてくれるので、私たちも考えないといけない。

高校生 駅前にカフェがあったら良い。

議員 京成から考えると、JRの方がスターバックスコーヒーや、反対側にアインカフェがあり、京成の方が無い。
若者にはカフェが大事なことが分かった。

【テーマ】住み続けたい佐倉市にするためには～平和で安全な街にしよう～

高校生 事件や犯罪がない安心して暮らせるまちにしたい。

高校生 バスの本数を増やしてほしい。

議員 皆さんが帰る暗い時間は大丈夫なのか。

高校生 いつも乗るのは午後3時37分だが、次のバスが3時55分なので少し待ってしまう。

議員 皆と一緒に乗るから乗り切れないか。

高校生 佐倉南高校と一緒にの時間になり、乗り切れない場合がある。

高校生 歩きながら煙草を吸っている人がいる。煙草のポイ捨てをなくしてほしい。

議員 大人のマナーだ。

高校生 交通ルールを守って交通事故がないまちにする。

議員 先程も自転車の件もあったが、その辺も合わせてのことだと思う。

高校生 夜、歩いている時に足元が暗いので、2～3メートル間隔で街灯を増やしてほしい。

議員 佐倉南高校で、クラウドファンディングをおこなっている。

高校生 夜でも診察ができる、内科の大きな病院があるとよい。

高校生 明るく元気な人がたくさんいて、社会のルールをしっかり守って行動できるまちにしたい。



佐倉東高校



佐倉西高校

- 開催場所：第一委員会室
- 参加者数：6名
- 担当議員：高木大輔、宇田みおこ、長谷川泰弘、伊藤とし子、徳永由美子、山本英司、櫻井道明
- テーマ：（共通）30年後の佐倉市に期待すること
 - ①自然災害時の避難所や避難経路の整備について
 - ②佐倉市をより活気のある市にするためにできること
 - ③安全のための街灯の設置について
 - ④歩行者や障がい者に優しい都市計画について





意見交換

【テーマ】 30年後の佐倉市に期待すること

- 高校生 ①環境に優しいまち
- ・再生可能エネルギーを導入（太陽光発電や風力発電を市内の公共施設や住宅に拡げる）し、再生可能エネルギーを増やしていく。
 - ・ECO交通の整備（電気利用によるCO2削減と環境に優しい移動手段を推進する）する。
→授業で習ったが、二酸化炭素が排出されるとオゾンが破壊される。二酸化炭素を出すのは人間だと思っている。自然がどんなに頑張っても人間がいることによって人間が頑張らないと地球温暖化は加速していく一方なので、少しでも電気という便利なものを使っていくことが大事になっていくと思う。
- ②テクノロジーを活用したスマートシティ
- ・AI、ロボットを活用し、高齢者、障がい者に対し生活支援をしていく。
→支援する人が少なくなる現状で少なくなった分をAIやロボットで支えていけたらいいと思う。
→AIを使ってスマートな交通システムを整備していく。
 - ・渋滞解消により交通機関の効率的な運用ができることになるのでAIやロボットを活用することでもっと便利な生活ができると思う。
- ③住み続けたいと思うまちにする
- ・働く場所や雇用を確保していく。多くの人を呼び込むには働く場所の確保が絶対に必要だと思う。
 - ・働いてもらって佐倉の魅力を知ってもらい実際に住み続けたいと思ってもらうまちにすることが大事だと思う。
 - ・交通アクセスが良いところに手ごろに住める住宅を増やすのが重要と考えた。

高校生 30年後は、僕らは48才。30年をかけて、高校生と若者がもっと行政と身近になってお互いが寄り添って佐倉市自体をつくっていけば、佐倉市に期待や関心を持ち、選挙にも参加しやすくなり、意見が反映されやすい佐倉市になる。意見が反映されれば、定住人口も増えるのでよいと思う。

高校生 子育て支援（補助金、母親が創案できる施設など）をもう少しやった方がよい。子育て世代が増えれば、次のテーマ「佐倉市をより活気のある市にするためにできること」にもつながると思う。

高校生 整備されていないところが多いため、素早く安全に避難できるような市にしてほしい。自分の両親が高齢になったときに、素早く安全に避難できることを求める。

高校生 バリアフリーを増やしてほしい。西校には福祉課がある。福祉を学んでいるので生かしたい。

高校生 30年後は住んでいてもいなくても、佐倉市に戻って来たいと思える市になってほしい。佐倉市は自然環境が多い。自然環境を活用したまちづくりができていたらいいと思う。人を増やすための活気あるまちづくりのために、若者向けのゲームのイベントも30年後にやってほしいと思う。

議員 ゲームイベントなど、若者が集まりたい企画（佐倉で開催してほしい）は、どのようなものがあるか。



意見交換

【テーマ】30年後の佐倉市に期待すること

高校生 TikTokなどのSNSではやっているアイドル、フルーツジッパー、バウンディ、バンプオブチキンなどのイベント

議員 佐倉は自然が豊かである。高校生は環境、自然について魅力を感じるか。
西高の裏には、西部自然公園があるが魅力か。

高校生 東校は、城址公園の中にあるので嬉しいと思っている。東校も城址公園も佐倉市も知ってほしい。SNSでもっと発信していきたい。

高校生 自分達は今年の意見交換会で西校裏の西部自然公園について聞いたので知っているが、ほとんどの生徒が知らないと思う。

議員 30年後は環境問題が大きな問題になっている。今でさえ四季が崩れかけている。30年後は四季がなくなるのではないか。環境問題、温暖化対策には国、各自治体も真剣に取り組むべき。皆さんにも温暖化に対する意識を高めていただきたい。高齢化がすすみ、介護ロボットの普及は進んでいく。2040年には、佐倉市の人口が政府の見解で人口約13～14万人に減少するともある。人口減少に伴う税収減など、厳しい問題に、皆さんも真剣に取り組んでいただきたい。

議員 皆さんの提案はその通りであると思う。
30年後やっていかなければならない提案ばかりである。
佐倉市もゼロカーボンシティを宣言し、これからも進めていく。
若者と行政のつながりとして、このような意見交換会もある。
若い人が移り住んでくれる佐倉市になるよう考えていきたい。

【テーマ】自然災害時の避難所や避難経路の整備について

高校生 佐倉市には高齢者が多く坂も多い。高齢者が不自由なく避難できる非難経路の整備と避難所のバリアフリー化をした方がよいのではないか。

高校生 避難所の位置が少し分かりづらい。避難経路が少し整備されていない。実際自宅前のブロック塀も震度4、5以上で壊れる可能性が高いため、避難経路が寸断され、助けられる命が助けられなくなるのではないか。
避難訓練の際に、避難所までの道が狭く混雑してしまったことがある。広い避難経路の整備は絶対に欠かせないと思った。大勢の人が一斉に避難する中、お年寄りや障がいのある方がどのように避難するのか不安である。



意見交換

【テーマ】 自然災害時の避難所や避難経路の整備について

高校生 避難所の中に、家族向け、高齢者向けの場所を整備した方がよい。

高校生 避難時の高齢者の移動手段がないことは問題である。

高校生 佐倉西校は避難所に指定されているが、坂の上にあるため住宅街まで距離がある。住宅街まで街灯が設置されていないため、夕方や暗くなる時間帯によっては避難するのが難しい。避難経路の整備を考えた方がよい。

高校生 自宅付近には避難所が多くあるが、避難所へ行く道が整備されていないと思う。

議員

- ・佐倉市のハザードマップを高校生に配布しながら、共助、公助、近所など、災害時にはみんなで助け合うことが必要であることを説明した。地域の人が避難経路を作成している、佐倉市のHPで確認してほしい。
- ・佐倉市では、高齢者、障がい者など一人で避難することが困難で支援を必要とする人に対し、名簿を作成している。自治会や自主防災組織などが支援を行う予定である。医療的ケア児の避難訓練を白銀、中志津で行った。
- ・避難所がいっぱいになった場合など、自分で何かをする必要がある。自治会単位での避難訓練に参加するのも大切。
- ・自助が必要、防災訓練に多くの若い人が参加していただくことが、いざというときに役立つ。若い人の協力をお願いしたい。
- ・老朽化した危険ブロック塀対策は大事。市の担当課に連絡を。
- ・どのような災害が起こったかを知ることが大事。災害を想定し、地区において要支援避難者などについて常備していることが大事。自助の重要性。

高校生 自然災害時のインフラ対策について教えてほしい。

議員

- ・大規模災害時には1週間は自力でなんとかするのが今の流れ。水道管については耐震化工事を病院などを中心に行っている。
- ・給水車が2台ある。道路が整備されれば各地区に給水できる。
- ・防災井戸、防災トイレ（マンホールトイレ）を小、中学校に設置している。
- ・トイレ問題が切実。自宅でも簡易トイレの準備を。ごみ袋にペットシーツの利用なども有効。

高校生 ペットがいる場合の避難はどうすればよいのか。

議員 染井野小で初めてペット避難訓練を行った。ペットがクレートに入れるように事前に訓練が必要。餌の準備も必要。



意見交換

【テーマ】佐倉市をより活気のある市にするためにできること

議員 高校生に、具体的にしてほしいことがあるか聞きたい。

高校生 代表的には商業施設や学校かなと思う。佐倉市には学校が少ない。専門学校、大学がない。来年度ユーカリが丘に専門学校ができるがそれ以外はないので、商業施設以外ないかなと思う、佐倉市で商業施設を作る場所がどこか、知りたい。

高校生 ふるさと広場、草ぶえの丘、城址公園などでイベントが開催されている、イベントの規模を大きくし、参加できる世代を増やし、市民同士の交流を増やしていく。

高校生 アイドルを推すのがはやっているので佐倉でイベントをしてほしい。

高校生 佐倉と言ったら歴史だが、観光資源としての歴史が、若者や観光客に注目してもらえていないので、歴史をテーマにしたイベントをいくつか開催してはどうか。子どもや外国人向けにコスプレイベントなど（津田梅子のコスプレで城下町を歩く。）子どもや外国人に来てもらうイベントなどの情報発信を積極的に行い人を呼びたい。

議員

- ・協定締結を受けて高校生がいろいろなところで活躍してくれた。70周年式典イベントなどでも小中高校生が活躍してくれて活気がでた。一年限りでなく、若者が活躍できる場を用意できればよいと思う。プレーパーク、子ども食堂などでも高校生がお手伝いで参加してもらえると子どもたちも喜び、まちに元気な印象がでるのではと思う。
- ・高校生に参加してもらえるために行政としても情報提供が重要であり、情報発信や窓口を整えていかなければならない。
- ・高校生からの考えを聞かせてほしい。もっともっと主張してほしい。
- ・観光Wコア構想により、ふるさと広場を拡張し、他市から佐倉市に来てもらえるよう計画している。観光バスで食事の取れる場所を作っていきたい。市長も頑張っている。用地買収から動き出した。もっと外から人が来るのではないかと期待している。・駅の周りについても、皆さんからの要望、考えを出してほしい。
- ・コスプレイベントについての意見が出されたが城址公園でコスプレ撮影会に出くわし、このような使われ方をしているのだと驚いた。住んでいる人に佐倉市を好きになってほしい。まちづくりはみんなですること。
- ・県の150周年イベントでのドローンについて知らない人がいた。PR不足を感じている。
- ・大学誘致に関しては、数年前の順天堂大学誘致は残念ながら、誘致には至らなかった。今も大学誘致の話はなくもない。佐倉市の人口も17万人をきっている。人口減少を止めるための大学誘致は喫緊の課題で全国の自治体でみんなやっている。市長もそのような考えをもっている。大学誘致は議会も理解した中でこれから話をしていく。
- ・城址公園など、いろいろなイベントの情報が行なわれているが、何がいつ行われているのかわからないのが現状である。イベントに対するアピールは市の責任で、もっとアピールすることが市の責任である。
- ・歴史をアピールすることは、佐倉の昔からの基本である。佐倉城下町11万6千石の佐倉は、平成28年北総4都市江戸機構は日本遺産（佐倉・成田、佐原、銚子）になった。PRはしているが、まだ浸透していない。皆さんからの意見をいただき参考にしていきたい。
- ・長島茂雄記念野球球場、小出義雄記念陸上競技場の利用者数も減っている。皆さんの意見をもらってこれらの施設を利用したイベントも進めていきたい。



意見交換

【テーマ】佐倉市をより活気のある市にするためにできること

議員 高校生活も忙しいと思うが、青春文化祭に次年度以降も続けて参加したいか。

高校生 長い期間でもあり、夏休みでもあり部活との両立などが大変だったが、佐倉市が大好きなので誇りに思った。佐倉市のPRになるなら、また機会があったら出演したい。

高校生 みんなの前で披露する身としては、見てもらえる機会が増えることは嬉しい。(吹奏楽部)

高校生 東高校と西校で合同の「東西の風」というテーマで書道の発表を行った。高校同士のつながりができるので嬉しい。

【テーマ】安全のための街灯の設置について

高校生 街灯がないため、東高校から部活終了後(午後6時半すぎ)に下校するのが暗くて怖い。麻賀多神社と房州屋の間の道、市立体育館の下り坂、佐倉美術館の裏側の通り(裏新町)など。子どもや女性など不審者対策を。

高校生 警察署から酒々井に向かう歩道(杉のや本陣付近)に一切街灯がなくて怖い。街灯があるところでも暗いところが多い。樹木で覆われてしまいで暗すぎる。怖いのももう少し明るくしてほしい。

議員 酒々井に向かう道は、国道。
LEDの街路灯が切れていればすぐ市役所に電話してください。

【テーマ】歩行者や障がい者に優しい都市計画について

高校生 佐倉の土地には高低差があるため、コミバスなどのバス停をもう少し増やしてほしい。

議員 障がい者に優しいまちづくりをすることは、本当にしなければならないこと。少しずつ改善していくようにする。



佐倉高校

- 開催場所：第三委員会室
- 参加者数：7名
- 担当議員：齋藤寛之、高橋とみお、五十嵐智美、石井秀明、密本成章、木崎俊行、押木孝和
- テーマ：①障がい者とともに暮らすとはどういうことなのか
②里山を保全する、活用する、とはどういうことなのか
(共通) 30年後の佐倉市に期待すること





意見交換

【テーマ】障がい者とともに暮らすとはどういうことなのか？

- 高校生 障がい者にとって住みやすい市とはどういうことなのか。障がい者にとって住みやすい環境を整えるために、私たちができることは何かを考えた。
その結果、支援の意思表示ができるマーク（以下「マーク」）を作ってはどうかと考えた。
- 高校生 支援をしたいというマークは世の中にたくさんあるが、認知度が高くないものも多い。マークをどう普及するのかという課題があると思う。
- 高校生 マークを作ってキーホルダーやシールを作る場合、お金がかかる。
無事に配布できるものを作るとすると、金銭面の問題が発生する。
- 議員 障がいの種類やレベルによって、求めているものがひとそれぞれ違う。
どのようなニーズがあるか、しっかり考える必要がある。
- 議員 マークを作るまでをひとまずゴールとした場合、デザインするのであればコンセプトが必要だ。さらに誰に遡及するか、どのような目的とするのかを考える必要がある。
障がい者の方々とたくさん交流し、目的や遡及先を明確にしてほしい。
- 高校生 現状では、身体障がい者の方を対象と考えている。
- 議員 例えば遡及先を、車椅子を使用している障がい者と考えた場合、駅の階段の段差などでアピールが強くだせるマークが理想だ。ひとまず、そういう考え方をするとマークも自然といろいろな案がでてくる。
- 高校生 障がいは、人によって程度に違いがある。障がい者が抱える「困っている点」は自分しかわからない。そのような「困っている点」を発信していける環境づくりが必要ではないか。
- 議員 自分がつけるマークか、支援を求める側のつけるマークかという点が議論の出発点になるのではないか。「私は助けたいです」という趣旨のマークと「何らかの障がいがあるので、困っています」という趣旨のマークだ。どちらを想定しているのか。
- 高校生 「私は助けたいです」という趣旨のマークを想定している。
- 高校生 マークを作ったとして、そのマークの認知を広めたり取得して身に付けてもらったりするための情報発信が必要だ。
- 高校生 広報について、一つはSNS発信を想定している。また、駅に掲出してもらってはどうかと考えている。
- 議員 それらには予算が必要だが、金銭面のことならクラウドファンディングという手法もある。また、市に相談するというのも一つの手だ。一方、認知度を高めるというのは大変な作業だ。佐倉市には「認知症サポーター制度」があり広報もそれなりにやっているが認知度は高くない。



意見交換

【テーマ】障がい者ととともに暮らすとはどういうことなのか？

- 議員 私は、究極はマークが必要ない社会になってもらいたいと思っている
例えば、駅のホーム等危険な場所で白い杖をついて歩いている方を見ても誰も手を差し伸べないという場面を何度もみた。
- 議員 マークを作りたいと考えたのは、どのような実体験に根差しているのか。
- 高校生 学生という立場では、障がいを持つ困っている人に出会う場面は駅が多い。
電車に乗ったときに鼻にチューブをつけたお年寄りを見かけた。何かできることはあるかと声をかけたいが、そもそも何かできることがあるのかが分からず躊躇した。そこで私がマークを身に付けていたら何かあれば、ご高齢者から声をかけやすくなるのではないかと考えた。
- 高校生 住まいの近所に特別支援学校ある。そこに通う生徒さんが歩いているときに転んでしまった。その時、自分から声をかけづらかったという経験がある。
- 議員 障がい者の方々と接する経験がないと、なかなか手を差し伸べられない。
活動を継続し、経験を踏まえた上でマークを作るなど、ゴールに向かってほしい。
- 議員 今日佐倉分校の生徒さんたちがきている。その方たちと友達になってみるとよいのではないかと。友達になって話をしていく中で新しい発見があるだろう。

【テーマ】里山を保全する、活用する、とはどういうことなのか？

- 高校生 里山について、詳しく説明できる人は少ない。
里山とは、広義には人が森から恵をもらう山であり、人々の生活に近いところにある。また、人里と野生との緩衝地帯という側面もある。
近年、そのような役割がすたれてきたように感じられる。
例えば、ニュースなどをみると熊の被害などの獣害が多く発生している。このような問題が発生しているのに、里山の認知度が低い。
私が知っている佐倉里山クラブではメンバーの高齢化が課題だ。
里山の大切さについて、知ってもらう啓発活動が大事だと考えている。
- 高校生 行政との連携について、佐倉里山クラブと行政がどのように連携しているのか知りたい。市が運営しているホームページに団体の情報が掲載されていたが、担当者がかかわって連携が難しくなった。
団体と行政との情報のやりとりが円滑にできるようにしてもらえるとありがたい。



意見交換

【テーマ】里山を保全する、活用する、とはどういうことなのか？

議員 里山の保全について具体的に何が大変か。また保全に関する作業等をこの先どのように続けていくかということを検討することが大切だ。

高校生 いろいろあるが農家の方が様々な獣害に遭っている。そのような問題をどう解決するかという点が頭の痛いところだ。

議員 里山は、民間、行政とあわせて考えれば、必ず誰かが所有している。特に民間所有の里山は、所有者が手を付けられなくなったケースが多い。所有者がどうすれば整備ができるのかと考えると、予算、活動する人員が必要ということになると思う。

議員 佐倉市には里山自然公園がある。この場所は、約半分は民間が所有している。民間では手を付けられないため、官民連携で整備している。また、そこではいろいろな団体も活動しており、里山大学などで里山について実地で学んでいる。佐倉市全体として、グリーンインフラを作っていかなければいけない。市だけではできないし、民間だけでもできない。

議員 具体的な保全対象の里山はあるか。

高校生 具体的な名前は伏せるが、貴重な植生が多い里山だ。現在、労働力の不足により苦勞している。里山クラブの皆さまは、高齢化等で今のままでは大変なことになるという危機感がある。

議員 若い人の力が必要ということか。

高校生 その通りだ。一方、里山の現状について、知名度があまりに低い。みんなに知らせていきたい。

高校生 今回、議題となった里山について、事前に調べてきたが、今日まで私は知らなかった。

議員 手の入りにくい里山に産業廃棄物が捨てられているという現状もある。また、イノシシなどの獣害は今後増えていくことが想定される。里山からは恵みを得られる一方で、規制や保全をする上で予算がかかるという問題がある。限られたリソースを使う以上、保全にもしっかりしたビジョンが必要だ。



意見交換

【テーマ】 30年後の佐倉市に期待すること

- 高校生 佐倉高校入学まで、佐倉市についてはほとんど知らなかった。一方、いろいろ知っていくうちに、佐倉にしかない魅力がたくさんあることに気がついた。歴史建造物が残る街並みや、里山等の自然が魅力であり、両立して知っていただくことができれば素晴らしいと考える。
- 高校生 博物館が好きで、よく上野に行くが、佐倉市にも国立の歴史民俗博物館がある。その他、歴史的な資料など、学問、研究対象となる資源が充実している。佐倉高校も歴史が古く、貴重な書物等がある。そういう資源を生かすことができれば、より魅力が増すのではないか。
- 高校生 子どもに対しての支援や補助等、市のサポートがもっと増えるとよいと思う。そういう施策から、若い世代は政治への関心がでてくるので、結果的にそのような施策が佐倉市の力となるのではないか。
- 高校生 将来、しっかり働いている自分を想像したとき、子育てがしやすい市であってほしいと思う。両親共働きでも住みやすい市を目指していただきたい。
- 高校生 私が住んでいる（他市）地域では、車道に緑色のラインが引かれており、そこが自転車道という見立てになっている。一方、車道と自転車道との間にはガードレールもなく危険だ。自転車道の緑色のラインの上を車が走っていることも多く、困っている。自転車専用の道があるとよいと思う。
- 高校生 私が住んでいる市には海という観光資源があるが、浜はごみが落ちており汚い。よって、観光客が少ないという印象だ。佐倉市にも、歴史民俗博物館や歴史的建造物、ふるさと広場など魅力的なものがたくさんあるので、それらを「魅せるもの」という視点でしっかりとらえて、展開するとよいのではないか。また、歴史が好きな外国の方は近年多くなっている。海外に向けて、情報を発信していくなど、アピールすることが必要だと考える。
- 議員 佐倉市の財政の硬直化率を表わす経常収支比率は90%を超えている。つまり、政策的予算には数パーセントしかあてることができない、という状況だ。そして、その財政状況の見通しは、今後さらに厳しくなる。そのような中、政策面ではどうしても選択と集中という考え方が必要になってくる。それを踏まえ、私たち政治家がしっかり行政を監視し、今後につなげていきたい。
- 議員 政治に関心がある若者が増えるということは素晴らしいことだ。佐倉市には、様々なイベントがあるが、高校生が参加したいイベントとはどのようなものか知りたい。また、議員と若い世代の市民が話す機会が増えるとよいと考える。
- 議員 生活、教育など、生きていくために必要な最低限の生活が保障されるような30年後になってほしい。例えば、介護人材の介護報酬が下がっており、なり手がいない。どこに予算をつけるか決めるのは政治だ。



意見交換

【テーマ】 30年後の佐倉市に期待すること

- 議員 佐倉市は、歴史・文化・自然という魅力をのばす方策を実施している。一方、人口減少が急激だ。移住や企業誘致など、誘致作戦をやっているが、推計では30年後は人口が減っている。そうなると収入は大幅に減少し、結果福祉などの政策にしわ寄せがくる可能性が高い。コンパクトシティ等の政策が今後重要になってくるだろう
- 議員 佐倉市は、魅力や売りがたくさんあるがゆえに、分散してしまうというぜいたくな悩みがある。例えば観光について言うのであれば、ここに集中するという意思が必要だろう。議会は、行政を監視し、検討し、採決しながら、私たち議員が一生懸命つないでいくので引き継いでほしい。
- 議員 少子高齢化や予算の減少により、行政では現在当たり前に行っていることが、当たり前ではなくなる。例えば30年後、現在100人で行っている仕事を70人でやるというような状況になる。一方、成田空港が広く大きくなる等、佐倉市にとって好材料もある。特色を市民全員が発信し、広報してもらいたい。



佐倉南高校

- 開催場所：第二委員会室
- 参加者数：6名
- 担当議員：橋岡協美、望月圧子、松島梢、三井義文、村田穰史、敷根文裕、岡村芳樹
- テーマ（共通）30年後の佐倉市に期待すること
 - ①京成佐倉駅近辺に店が少ない
 - ②本校夜間部3年E組で取り組んでいる「ウォーカーブル」企画について
 - ③その他





意見交換

【テーマ】 30年後の佐倉市に期待すること

- 高校生
- ・少子化により幼稚園など閉園に追い込まれている。これ以上佐倉市外に転出する人が多くなると活気がなくなってしまうので、これからも佐倉市に住んでもらうため教育の豊かさや子育て支援が必要だ。
 - ・今でも高齢者が多くなってきていると感じているが30年後はもっと高齢化が進み、若い人が減少すると危惧している。そのため若い人にとって魅力のある店舗を誘致してほしい。
- 議員
- ・皆さん現状をよくみている。流入人口が減少しており佐倉市では進学や就職を機に転出している傾向があり、人口も著しく減少に転じてきている。
 - ・提案の通り、若い人にとっての魅力ある店舗の誘致、また、ベッドタウンとして発展してきた佐倉市の利便性と落ち着いて暮らすための閑静なまちの魅力をもっと発信していきたい。
- 高校生
- ・夜間部の3年生では、ウォークブルのプロジェクトを実践しているが、佐倉市では皆が誰でも過ごしやすいようなウォークブルの取組を推進しているのか伺う。
- 議員
- ・今回クラウドファンディングでウォークブルの取組が達成されており、市民の皆さんの要望、自治会のない地域の要望に伝えるためにも、皆さんが取り組んでいるウォークブルの取組の成功例に期待し、参考にしていきたいので活動を注視していきたい。
- 高校生
- ・佐倉市には、若者を引きつけるモールやまち、遊ぶ場所が必要だ。
 - ・佐倉市で遊ぶのはカラオケくらいで千葉や船橋に遊びに行っている。
- 議員
- ・去年もこの課題が話題になっていて、ユーカリが丘のイオンに渋谷で有名な若者に人気のある店舗を期間限定で誘致したいが実現していない。
 - ・30年後皆さん佐倉市から転出しているとのこと。そうならないように若者を引きつけるまちづくりを推進していきたい。
- 高校生
- ・佐倉の秋祭り、チューリップ祭り、花火大会は楽しみにしている。
 - ・毎年佐倉マラソンに出場しているが、全ての世代をターゲットに交流を深められるようなイベントにより佐倉市の魅力が深まっていくと考えられる。
 - ・図書館は、勉強するためには予約が必要で勉強する場所がない。
 - ・チューリップ祭りでボランティアをしているが、駐車場が少ない。
- 議員
- ・ふるさと広場の駐車場について、土地を手配して駐車場を確保している。
 - ・イオンの3階で勉強されているようだが勉強できるスペースを確保していきたい。



意見交換

【テーマ】京成佐倉駅近辺に店が少ない

- 高校生
- ・たまに京成佐倉の方に行っても人通りもなく、若者が行ってみようと思うようなカラオケ、カフェもない。
 - ・チェーン店やお昼を食べる公園はあるが、若者が行きたいような飲食店等遊ぶ場所があったほうがいい。

- 議員
- ・昨年も課題になっていたが、京成佐倉周辺は、ヤングプラザしかない。
 - ・図書館では、勉強している人でいっぱいなのは承知しており、美術館の1階を利用してはどうか。
 - ・若者が集まってくれば店舗を設置してくれることに期待ができる。

- 高校生
- ・JR佐倉駅周辺には快活クラブ、ふらっと立ち寄ることができるセブンイレブンもあるので京成佐倉駅にもほしい。
 - ・佐倉地区で一人暮らし、チェーン店は1店しかなく近隣のスーパーは高く安いスーパーまで自転車で片道30分かかるので、安売りのスーパー等店舗がほしい。
 - ・佐倉地区に住んでいて、居酒屋が多いと感じており、期間限定でいいから渋谷で人気の店がきてほしい。

- 議員
- ・コンビニの2階に勉強できるスペースや遊ぶスペースがあったらいいと思うが、そういった要望を皆さんが発信してくれば企業も考えるし、議員は執行部に要求しやすいので遠慮なくどんどん意見を出してほしい。
 - ・現在、皆さんが佐倉に住んでいて不便でつまらないと感じており、将来転出する恐れがあるため危機感を抱いたので対策を考える。
 - ・企業家はニーズがあれば出店するので、要望を出してほしい。

- 高校生
- ・他市にあるような特徴のあるスーパーがほしい。
 - ・弥富地区の直売所は常に賑わっているが、皆、夜は蛍が綺麗なのは知らない。京成佐倉駅周辺も地域の直売所を設置し、地域の取組等を広報すれば地域に興味をもってもらえるようになり、いい方向に向かうと考えられる。
 - ・ユーカリが丘のイオンは、小中学生対象の勉強できるスペースしかない。

- 議員
- ・南校の近くの佐倉南図書館も予約が必要になり、持ち物にも規制があるのには驚いた。予約なしで勉強できれば便利になると考えられる。



意見交換

【テーマ】本校夜間部3年E組で取り組んでいる「ウォーカーブル」企画について

- 高校生
- ・高校の前の一本道が、夜は街灯が少なく暗く道もガタガタで歩きづらい。自転車の通行も困難だったため、どうしたら歩きやすく自転車も走行しやすくなるかとクラスで考えて、実際に様々な企業からクラウドファンディングで約92万円、現金での寄附を合わせて100万円集まり、来年実現できるように動いている。
 - ・まだ協議中で決定ではないが楽しく歩けるように健康的に歩ける歩幅を目安に、夜になると光る蓄光型の足跡型テープの設置を考えている。
 - ・資金が足りないので、クラウドファンディングをすることを、みんなで考えた。
- 議員
- ・問題を解決するために、それぞれの得意分野に相談しながら取り組んできたことは、とても斬新で面白いアイデアだ。素晴らしい取組なので強力的に推進して欲しい。
 - ・地域課題でもあるので、市で役立つことがあれば率直に相談にきてほしい。
 - ・社会課題を南校が企業を巻き込んで問題解決にあたり実際100万円をクラウドファンディングで集めたことは感謝している。とっても素晴らしい取組なので他の高校にも広がってもらいたい。実際にできた時にはぜひ見に行きたい。
- 高校生
- ・教室も分かれているので夜間部とは今まで会ったことがなかったので「ウォーカーブル」の取組も今日知ったし、意見交換で交流できてよかった。
- 議員
- ・交流は大事なので、共同掲示板を利用して、みんなでお茶会を催して交流の機会を得たらどうだ。

【テーマ】何をきいてもいいコーナー

- 高校生
- ・交通の便が悪く、図書館に行くのも徒歩ではいけず、京成佐倉駅からJR佐倉駅に行くのにも大変でバスも逃すと2時間待つ。そして、佐倉市では坂が多く、駅周辺にレンタル電動自転車があれば便利になると思う。
 - ・例えばコンビニをスポットにして、1～2キロメートルごとにあると利用しやすい。
- 議員
- ・成田市、八千代では取り組んでいるハローサイクリングが佐倉市にも相談がきたが、スポットが少なく交通網の形成ができず実現できなかった。高校生からそういった要望があるとは思ってもみなかったので私達が思いつかないスポット、レンタルサイクリングの要望も出してもらって実現したい。
- 高校生
- ・普段は自転車で通学しているが夜間部なので、バスを利用する時、京成佐倉とJR佐倉が遠いので、京成バスも遅いし、何とかしてほしい。
 - ・東南アジアで利用している三輪車のようなものを走らせたらかどうか。
 - ・車を利用している人が多いので、バスの利用者が少ないのでバスの便が少なく不便。



意見交換

【テーマ】何をきいてもいいコーナー

- 議員
- ・私達も不便だと感じていて何とかしたい。
 - ・買い物客を対象にぐるっとバスを走らせているが赤字。
 - ・王子台も人が多そうだが王子台のバスも人が乗っていない。
 - ・民間のバスが運行しているところには、市の循環バスを走らせられないがJRのほうが東京に行くには便利なので、京成とJR間が便利になれば新しい展開になることが期待される。
- 高校生
- ・今回も前回も生徒会が参加しており、前は緊張して終わったら貴重な体験をさせてもらって楽しかったと気がついた。
 - ・去年参加したが、その時もJR佐倉と京成佐倉間を便利にしてもらいたい、道がでこぼこしているので何とかしてほしいと意見を出したが実現したことはあるのか。
- 議員
- ・バスの社会実験を行っているが、市民の要望とはずれていると感じている。
- 高校生
- ・チューリップ祭りのボランティアをしていたとき、来場者のアンケートでは、ふるさと広場以外何もないという意見が多く、最近は城址公園のイベントもあまりなく、せっかく佐倉市にきてくれたのにもったいないと感じていて、佐倉市は歴史を尊重しているので、もっと佐倉市の魅力に触れてもらえるようにしたい。
- 議員
- ・ふるさと広場に道の駅の構想は以前からあるが、道の駅ならぬ沼の駅をつくって成功させたいが中々実現できずにいる。ようやく県も沼沿いを整備し、バスが通行できるように道路も拡幅されたが、飲食するスポットが少ないので佐倉市外で飲食しており、飲食店の誘致、寺崎からの道路が印西線の県道とつなげる都市計画もあり、沼は浅瀬で船の走行が難しいが、砂を取り除くことができれば、ふるさと広場からJR佐倉まで水上バスで行けるような面白い発想もでき、また草ぶえの丘も本当は近いので、アクセスをよすれば回遊性が高められ、日本で唯一無二の国立歴史民俗博物館にもつながっていけば佐倉で一日ゆっくり楽しんでもらえるようになると思うので、具体的実現するためには、若い人の意見を全力で生かして取り組んでいきたい。
- 高校生
- ・授業中にお知らせがきてしまうのでライン公式アカウントは怖い。
 - ・ネット社会なので、佐倉市はインスタグラムだけでなく、XやFacebookでも情報を発信してほしい。
 - ・私達はいいが、両親とかはアナログなので今までやってきた紙とか回覧板の発信も残してほしい。
- 議員
- ・公式アカウントは若い人向けではないと感じた。
 - ・佐倉市の情報発信では、本当にほしい情報が手にいれにくいことを知った。



意見交換

【テーマ】何をきいてもいいコーナー

- 高校生
- ・はじめて参加して緊張したが、自分の意見を受け止めてくれて参加して良かった。感謝している。
 - ・2回目参加したが、緊張せずに意見交換することができた。感謝している。
 - ・2回目参加、招待してくれて感謝、ウォークアブルのプロジェクトが伝わっていて嬉しく、これからも活動を温かく見守ってほしい。佐倉市の発展を祈っている。感謝している。
 - ・はじめて参加、はじめはとても緊張していて上手く話せなかったが、最後はみなで仲良くなり、自分の意見もしっかり言えた。感謝している。
 - ・はじめて参加、議員の皆さんは、検討検討、増税増税、といったイメージがあったが、佐倉市民と向き合ってくれていることがわかり心から尊敬できた。今回はこのような場をつくってくれて感謝している。
 - ・はじめて参加、佐倉市民として、今まで知らなかった佐倉市の情報や市政について知ることができてよかった。佐倉市もどんどんよくなっていると感じたので、これからも佐倉市に期待している。感謝している。
- 議員
- ・このような機会がないと高校生の意見を伺うことができないので、大変嬉しかった。今後もよろしく。感謝している。
 - ・以前はインターンを受け入れていたが、日頃世代を超えた高校生と話す機会がないので、みなさんに感謝している。佐倉市に住んでいる皆さんの意見が、私達議員活動の糧として熱意をもって取り組めるので、今後も何か意見等があったら連絡してきてほしい。
 - ・前回意見交換会に参加していただいた時の、議員がいなかったのは残念でした。皆さんにとってとても年上の議員の私達ですが、若い皆さんから意見を伺うことができ、様々なことを吸収していくので、今後ともよろしく。本日は感謝している。
 - ・10代の皆さんが現実的なことを語っているのに驚いた。佐倉市は非常に不十分で遅れているので、皆さんが議員となって、30年後皆さんが住みたいまちを創造できると期待している。こういった会は何回も設けてほしい。
 - ・前回参加した高校生の意見が新聞に掲載され、様々な意見に対して調査研究をしたら、思ってもみない新たな市民生活の実態を知る機会になった。本日いただいた貴重な意見も佐倉市の発展のために生かしていく。本日は参加してくれて感謝している。
 - ・中学生の子どもがいて、本日皆さんがしっかり意見を持ち、真面目だと感じ、皆さんのようにしっかりした子になるように子育て頑張ろうと思った。
 - ・本日皆さんからいただいた貴重な意見を今後生かしていきたい。佐倉市は若者の投票率が低いので、皆さんに選挙にいらしてほしい。
 - ・皆さんが高校生というよりは、市民という目線で意見を承った。去年の意見が反映されるよう、一步でも形になるよう努めていく。本日は感謝している。

アンケート結果

令和6年度 議員と高校生との意見交換会

【高校生】実施後アンケート まとめ

【参加者】

- 高校生 25名
 - ▶佐倉高校 7名
 - ▶佐倉西高校 2名
 - ▶さくら分校 6名
- ▶佐倉東高校 4名
- ▶佐倉南高校 6名

- 議員 28名

	合計	内 訳			
		佐倉高 8名 <small>※内、教員1名</small>	東高・西高 6名	南高 6名	分校 6名
■意見交換会に参加した印象は…					
とても良かった	19	8	4	3	4
良かった	7	0	2	3	2
普通	0	0	0	0	0
悪かった	0	0	0	0	0
とても悪かった	0	0	0	0	0
■市議会の役割や活動は理解できましたか…					
できた	14	5	2	5	2
ある程度できた	12	3	4	1	4
あまりできなかった	0	0	0	0	0
できなかった	0	0	0	0	0
■意見交換会に参加して市議会に関心は持てましたか…					
参加前から関心がある	3	0	1	1	1
持てた	19	7	5	4	3
少し持てた	4	1	0	1	2
持てない	0	0	0	0	0

■自由記述

●佐倉高校

- ・もう少し少人数にして積極的に意見が交換できると良かったと思う。
- ・事前に各議員さんの情報が知れたら良かった。

自分たちの考えていた計画について、大人の立場や、政治的立場からの意見をいただけて、少しいきづまっていた探究活動に少し道がひらけた。

- ・私たちの意見がまとまりきってなかったにもかかわらず、たくさん意見を出してくださったり提案してくださってとてもよかった。
- ・議員さんと話せて嬉しかった。
- ・議会に入れたのは貴重だと思った。

- ・自分たちの課題について予算や市のこともふまえて具体的に提案してくれたことがありがたかったです。
- ・30年後の佐倉についての話し合いをもう少しやりたかったです。

他の高校含め、「ごちゃ混ぜ」でも面白いと思いました。

学校で全校に向けて話してもらうような感じではなく、少人数同士での対話だったので、意見を話しやすかったです。大変タメになりました。

市議会に入ったり、議員の人と話せたり、貴重な体験ができてとても良かった。

- ・子どもたちから問いを設定させていただいてありがとうございます。
- ・子どもたちの発言の機会もたくさん設けていただきました。

●佐倉東・佐倉西高校

自分たちが意見を言ってくれた後に、すぐ分かりやすく要約してくれるのがよかった。

- ・議員の方が積極的に話を聞いてくれて発言しやすかった。
- ・行政と若者が関わる機会をもっと増やせたら良いと思った。

ディスカッション前は、すごくドキドキしていたが、話を進めていくごとに、もっと佐倉市を良くするには私はなにができるのか、力になりたい。と思うことができました。

自分達の世代では政治離れが起きており、その中で直接議員さんと意見交換をしてもっと今回の意見交換会だけでなく、他の色んな形で議員さんと高校生だけでなく多くの若い人達と意見をかわせる場を増やして意見を反映されやすい町にしてほしいと思いました。

30年後のためにできること・やりたいことなど、自分でも考えれるいい時間だった。

■自由記述

●佐倉南高校

本日のような会を代表のメンバーだけがやるのではなく、学校の授業の一つに取り入れ、色々な人から意見をきけたらいいなと思いました。とても楽しくでき、話し合いもおもしろくてとても佐倉市に興味を持ちました！本日は本当にありがとうございました。

・話す場を作る事で今佐倉市はどうなっているか、市民はどう思っているのかが分かり関心をもてた。
・自分は佐倉市には色々な魅力があるが、その魅力を知らない人が多いからインターネットなどで、発信していけば皆に魅力を知ってもらえると思う。
・自転車を使用する人が意外と多いイメージがあるから、道せまくて交通も悪いからそこをどうにかしてほしい。

もっと意見交換したいなと思いました。現在の取り組みとか、これはできそうとかできなそうとか、まだまだ知りたいことができました。皆さんの意見を知れてとても自分にとってよい経験だったなと思いました。もっと佐倉の魅力を増やしてほしいしアピールしてほしいし、楽しい佐倉を作ってほしいなと思いました。

楽しかったです。テーマ1に関して、京成佐倉駅に限定せず、似たような境遇の市内のスポットを含めると、駅を利用しない人も積極的に意見を出せると思いました。

楽しかった。

個人の話にはなるが、ウォークブルのプロジェクトを皆さまが知っていた事がとてもうれしかった。ぜひ完成したら来ていただきたい。

●さくら分校

貴重な意見交換会に参加させていただいて意見を話したり、話を聞いてよかったです。

とても良い経験になり、とても楽しかった所とむずかしい所がありましたが、楽しかったです。

・今回の意見交換会をさせていただいて、自分の意見をお伝えできてうれしかったです。
・実際議場体験もさせていただいて、賛成、反対などのボタンを押してみても緊張感がすごくありました。

議員さんから、さわやかなトークがたくさんあって楽しかったです。

自分は、議会の一番目立つところで、議会体験をしてくださり、緊張したけど、十分にハキハキと気持ちを伝えることができたし、意見交換会も今自分と学校が疑問に思っていることを市議会の方としっかりと全て伝えることができたのでよかったし色々な事もわかりやすく説明してくださったり逆に新しい意見も言ってくれることもしてくださったので、とても良い体験でした。

・議員のみなさまと貴重な話をさせていただいて、貴重な経験になりました。
・とても話しやすかったです。
・楽しく会話ができてよかったです。



ご参加いただきありがとうございました。